

令和4年度第2回認可外保育施設職員テーマ別研修申込要領

1 目的

この研修は、なるべく多くの職員の方が業務に必要な知識を習得することを、主な目的として実施します。令和3年度に引き続き、同一科目の受講によりレベルアップを図ることを目的としたものではなく、広く研修の機会を設けることにより、より多くの方に受講していただき保育従事者の資質向上を図ることを目的として実施します。

2 研修対象者

都内にある認可外保育施設に従事する者

3 受講方法

オンラインによる研修の視聴（実習科目を除く）

オンライン配信を視聴できる環境にない方については、オンライン配信会場（23区内予定）にお越しただいて受講することは可能です。希望される方は、受講申込書の該当欄に記入してください。（配信会場の都合により若干名といたします。）

4 研修カリキュラム（研修内容）、研修日程及び会場

別表のとおり

5 参加費用

研修への参加費用は無料です。ただし、オンライン配信を視聴するための環境整備及び会場への往復の交通費及び昼食代は、自己（施設）負担とします。

6 申込者数が定員を上回る場合の取扱いについて

申込者数が定員を上回る研修科目については、研修主催者である東京都が施設ごとの受講者数を調整して選定します。そのため、希望していた人数全員が必ずしも受講できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

7 申込方法について

申し込みは施設単位に、研修科目ごとの受講希望数を取りまとめ、受講申込書（様式）にご記入の上、公益財団法人東京都福祉保健財団に、期限までにFAX等でご提出ください。

また、お申し込みの際は別表「研修カリキュラム（研修内容）、研修日程及び会場」と「研修科目別注意事項について」をよくお読みいただき、ご確認の上、お申し込みください。

なお、障害のある方等、受講にあたり配慮等が必要な方は、申込みに際して必ず事前にご相談ください。

提出期限 令和4年9月6日（火） FAXの場合は、17：00必着

8 研修科目別受講者の決定について

研修主催者である東京都が、申込施設に対し研修科目ごとに受講者数を決定します。詳細は、各施設に送付される「受講決定通知」等により通知します（令和4年10月中旬を予定）。10月中旬を過ぎてもお手元に届かない場合は、お手数ですが当財団まで確認のご連絡をお願いいたします。

9 研修受講方法について

施設ごとの受講決定数に基づき、受講していただきます。個人名を特定しておりませんので、該当する施設において保育に従事する方であれば、どなたでも受講することができます。

オンライン配信の科目については、一つの受講端末（パソコンなど）で、複数名の受講が可能です。ただし、別の場所からそれぞれ受講するなど、受講端末が複数になる場合は、申込書の「受講申込数」を2以上にして申し込んでください。

1 0 受講済確認書の配布について

研修科目ごとに受講状況（Zoomへのログイン時間・ログアウト時間・期限までのアンケートの提出）について確認し、**施設に対し「受講済確認書」を発行**します。

受講済確認書の発行は、一科目につき1枚です。複数人数が受講されても、**施設に対し1枚の発行**となります。

各施設には、認可外保育施設職員テーマ別研修の全日程終了後に各施設にまとめて普通郵便にてお送りします。（第2回の場合は、1月下旬以降の発送になります。）

やむを得ない理由により遅刻・早退・離席等をした場合も未受講時間が合計30分以内であれば出席とみなし、「受講済確認書」を発行します。

1 1 受講決定後に受講者数が減る場合について

受講決定後、やむを得ない理由により受講者数が減る場合は、速やかに下記の連絡先に欠席届をご提出ください。ただし、他の研修科目への振替・変更はできませんので、あらかじめご注意ください。

1 2 研修内容の周知

研修は、受講すれば終わりということではありません。受講した職員が知識を再確認し、また、施設内で情報を共有することで施設全体のレベルアップにつなげることができるよう、貴施設におかれては、職場内研修の機会を設けるなどのご配慮をお願いいたします。

研修で使用するレジュメや資料につきましては、事前に当財団ホームページに掲載させていただきます。研修開始までにダウンロードをお願いします。

また、研修内容の録音、録画、撮影は、認められていませんのでご留意願います。

1 3 実施主体

東京都

※東京都より委託を受けて公益財団法人東京都福祉保健財団が研修を実施します。

【問い合わせ連絡先】

公益財団法人 東京都福祉保健財団 人材養成部 福祉人材養成室 保育人材育成研修担当

TEL：03-3344-8522 / FAX：03-3344-7281

月曜日～金曜日（祝日を除く）9：00～17：30

研修カリキュラム(研修内容)、研修日程及び会場

別表

No.	日程	時間※1	研修科目※2	研修内容(予定)	講師	所属	研修会場※3
1	11月4日(金)	午前	おもちゃ製作 A (実習)	乳幼児の手作りおもちゃ	菊池 貴美江	造形あそびの会	オンライン配信
2	11月4日(金)	午後	おもちゃ製作 B (実習)	乳幼児の手作りおもちゃ	菊池 貴美江		
3	11月10日(木)	午前	救急救命訓練 A (実習)	事故防止・救急救命訓練	東京防災 救急協会 職員	東京防災救急協会	あいおいニッセイ 同和損保新宿ビル 地下1階ホール
4	11月10日(木)	午後	救急救命訓練 B (実習)	事故防止・救急救命訓練			
5	11月11日(金)	午前	救急救命訓練 C (実習)	事故防止・救急救命訓練			
6	11月11日(金)	午後	救急救命訓練 D (実習)	事故防止・救急救命訓練			
7	11月14日(月)	午後	こんなに深い絵本のメッセージ	絵本に込められている深いメッセージと乳幼児との関わりについて	二瓶 保	葛飾区立青戸保育園	オンライン配信
8	11月16日(水)	午前	事故防止と事故対応 ☆	保育施設における起きやすい事故及びその防止策と事故時の対応策	宮内 克代	前 佐久大学信州短期大学部福祉学科	
9	11月16日(水)	午後	乳幼児の健康管理	乳幼児突然死症候群と子育て環境	宮崎 博子	全国保育園保健師看護師連絡会	
10	11月17日(木)	午前	乳幼児保育	乳幼児の遊びと発達の援助	有馬 聡子 石井 康香	練馬区立石神井町さくら保育園	
11	11月17日(木)	午後	乳幼児の健康管理	乳幼児がかかりやすい感染症について	大川 洋二	大川こどもクリニック&内科クリニック	
					佐藤 勇	よいこの小児科さとう	
12	11月22日(火)	午前	保育所の役割からみた施設長の責務	保育所における保育の意義、保育の質の向上のための職員育成など施設長の責務と役割及び一時保育への対応について	久保田 桂子	株式会社マグハウス	
13	11月22日(火)	午後	児童虐待 ☆	虐待の気付き	西 智子	聖徳大学 大学院 日本社会事業大学	
14	11月25日(金)	午後	防災訓練(区部)(実習)	地震体験、救急救命訓練など	防災館職員		池袋防災館
15	11月29日(火)	午後	リトミック(実習)	乳幼児のリズム遊び	永井 悦子		研修センター地下2階 レクリエーション室
16	12月4日(日)	午前	乳幼児の栄養と食事	乳幼児に必要な栄養や食育について	堤 ちはる	相模女子大学栄養科学部健康栄養学科	オンライン配信
17	12月4日(日)	午後	発達が気になる子どもへの対応	発達が気になる子どもへの対応	原口 恵	東京都立小児総合医療センター 幼児学童デイケア	
18	12月5日(月)	午前	乳幼児の発達心理(0～2歳) ☆	0～2歳児のこころ育てー乳幼児のこころを感じ取り、育てる保育者をめざして	永田 陽子	東京都北区子ども家庭支援センター	
19	12月5日(月)	午後	乳幼児の発達心理(3～6歳) ☆	3～6歳児のこころ育てー困る行動・気になる行動に対応できる保育者	永田 陽子		
20	12月10日(土)	午前	保育理論	1日の生活と遊びの中での子どもへの援助の仕方	中山 利彦	新宿せいが子ども園	
21	12月15日(木)	午前	特別研修 ☆	アレルギー疾患を有する子どもへの対応	藤城 富美子	全国保育園保健師看護師連絡会	
22	12月21日(水)	午前	危機管理 ☆	災害時への準備とこころ構え「乳幼児への対策について」	鍵屋 一	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科	
23	12月21日(水)	午後	食品の衛生管理と食中毒予防・感染症予防	食品の衛生管理と食中毒予防	東京都福祉保健局健康安全部食品監視課	東京都福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課	
				感染症予防	東京都福祉保健局健康安全部食品監視課		
24	12月22日(木)	午前	乳幼児の健康管理	乳幼児の発育と気になる症状について	藤澤 知雄	済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科	
25	12月22日(木)	午後	乳幼児保育 ☆	体調不良児の保育ー乳幼児の健康度や体調不良な状況の考え方	藤城 富美子	全国保育園保健師看護師連絡会	

※1 研修時間は、原則として午前：9時30分～12時30分 / 午後：13時30分～16時30分ですが、網掛けがついている科目「11/25 午後：14時55分～16時40分」です。研修時間が異なりますので予めご注意ください。

※2 ☆印がついている科目は、オンライン講義の中でグループワークを実施する予定です。

※3 会場についての詳細(案内図)は、後日送付する留意事項に掲載いたします。

①あいおいニッセイ同和損保新宿ビル 最寄駅：都庁前 ②池袋防災館 最寄駅：池袋

③研修センター 最寄駅：茗荷谷

令和4年度 第2回認可外保育施設職員テーマ別研修 科目別注意事項について

集合研修の受講に際して、ご協力をお願いします。

- 感染症予防のため、不織布マスクを着用して受講してください。（集合研修は必須です。）
- 当日受付での体温が37.5℃以上の場合受講できません

「研修カリキュラム（研修内容）、研修日程及び会場」とあわせてご確認ください。

1 オンライン受講に関して

一部の実習科目を除き、全ての講義をZoomを使用したライブ配信で行います。別紙「オンライン講義受講で推奨するシステム要件」を必ずご確認ください。受講環境を整えてください。

タブレット・スマートフォンは処理能力が劣り円滑にご受講いただけない可能性があります。なるべくパソコンでの受講をお勧めします。

（1）受講確認

本研修では、受講者側のカメラ機能をオンにした状態で受講いただき、出席確認をいたします。そのため、講義中には受講者の情報（施設名や映像等）が共有されることにご同意の上、ご受講をお願いいたします。

なお、No. 1・2「おもちゃ製作（実習）」では、おもちゃの製作過程を共有する時間がありますので、常に受講者の映像が全体に共有されます。

（2）グループワークについて

別表の科目名に☆印がついている科目は、オンライン講義の中でグループワークを実施する予定です。マイク機能等をご準備いただき、発言ができる環境でご受講ください。受講場所の環境音が入ってしまうと、グループワークを円滑に実施できません。なるべく、会議室等の静かな環境での受講をお願いいたします。

また、一つの受講端末で複数名が受講する場合は、どなたか代表者1名がご発言ください。

なお、☆印のついていない科目であっても、簡単なグループワークを実施する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

2 「救急救命訓練（実習）」・「防災訓練（実習）」・「リトミック（実習）」について

この研修は、指定する会場にお越しただいて受講していただきます。（集合研修になります。）

受講決定数につき、1名まで受講が可能です。オンライン配信科目と異なり、複数名の受講はできません。

【 ご注意ください 】

- * 当日欠席のないよう、確実に受講できる日程でお申込みください。
- * 30分以上遅刻した場合は受講できません。ご注意ください。
- * 身体を動かす実習となりますので、基礎疾患をお持ちの方や妊娠中の方は、主治医に相談の上ご参加ください。その際は、申込時に財団までご連絡ください。

3 科目名に「A」「B」「C」「D」という記載がある研修科目について

以下の研修科目については、複数回実施いたします。各日程ともに同様の講義内容ですので、ご都合のよい日時をお申し込みください。

No. 1・2 「おもちゃ製作（実習）」

※製作するおもちゃはA・B共通です。

No. 3・4・5・6 「救急救命訓練（実習）」

※「救急救命訓練（実習）」修了者には、東京消防庁より「救命技能認定証」が発行されます。

4 研修受講時に準備が必要な研修科目について

以下の研修科目については、当日に各々に準備していただくものがあります。
また、「救命救急訓練」・「防災訓練」・「リトミック」は服装についての注意をご確認ください。

No. 1・2 「おもちゃ製作（実習）」

- ・製作するおもちゃに必要な材料と道具

準備していただく材料と道具についてはの詳細は受講決定の際にご案内いたします。

研修日時までにご準備をお願いいたします。

No. 3・4・5・6 「救急救命訓練（実習）」

- ・動きやすい服装（スカート・サンダル・かかとの高い靴 不可）

No. 14 「防災訓練（実習）」

- ・動きやすい服装（スカート・サンダル・かかとの高い靴 不可）

No. 15 「リトミック（実習）」

- ・動きやすい服装
- ・外履きを入れておく袋等と上履き（スリッパは不可）
- ・（お持ちの方は）カスタネットと鈴

オンライン講義受講で推奨するシステム要件

オンライン講義は、「Zoom」を使用して実施します。受講手順については、受講決定通知と一緒にオンライン視聴ガイドをお送りしますので、そちらをご確認ください。

機器やネットワーク環境については、下記をご参照のうえ、受講当日までに準備をお願いします。

1 システム要件

- ・ インターネット接続：有線または無線ブロードバンド（3Gまたは4G/LTE）
- ・ スピーカーとマイク内蔵、USBプラグイン、またはワイヤレスBluetooth
- ・ ウェブカメラまたはHDウェブカメラ内蔵またはUSBプラグイン
- ・ アプリ

注意事項

- ・ 講義中は、受講状況を画面で確認いたします。一部の科目では、講義中にグループワークや質疑応答等を実施します。受講の際にはカメラ機能・マイク機能をご用意ください。

スマートフォンの場合は、事前にZoomアプリのダウンロードが必要です。パソコンの場合は、アプリを使用せず、ブラウザでの受講も可能ですが接続が不安定・Zoomの一部機能に対応できない可能性がありますので**アプリの使用を推奨**します。

※ Zoomアプリのダウンロードはこちら

→ <https://zoom.us/download>（Zoomダウンロードセンター）

2 サポートされるオペレーティングシステム（OS）等

【パソコン】	【タブレット及びモバイルデバイス】
MacOS 10.9以降を搭載のMac OS X Windows 8（8.1）またはそれ以降 Ubuntu 12.04またはそれ以降 Mint 17.1またはそれ以降 Red Hat Enterprise Linux 6.4またはそれ以降	Win 8.1を実行するSurface PRO 2又はそれ以降 iOSとAndroidデバイス BlackBerryデバイス ※「Zoomアプリ」のダウンロードが必要です。

- ※ タブレット・スマートフォンは処理能力が劣り円滑にご受講いただけない可能性があります。なるべくパソコンでの受講をお勧めします。パソコン以外のデバイス（端末）で受講される場合の不具合のお問合せは原則対応できません。

3 サポートされるブラウザ（Zoomアプリがダウンロードできない場合）

- ・ Windows：Edge 12+、Firefox 27+、Chrome 30++
- ・ Mac：Safari 7+、Firefox 27+、Chrome 30+
- ・ Linux：Firefox 27+、Chrome 30+

4 プロセッサおよびRAMの要件

	最低	推奨
プロセッサ	シングルコア1Ghz以上	デュアルコア2Ghz以上 (i3/i5/i7またはAMD相当)
RAM	該当なし	8Gb以上

注意：Linuxは、OpenGL 2.0以上をサポートできるプロセッサまたはグラフィックスカードを必要とします。

5 帯域幅・通信料の目安

オンライン講義で使用する帯域幅は、視聴者のネットワークが3G、Wi-Fi、または有線環境に応じて自動的に調整されますが、通信環境により音声・画像の質が影響します。できる限り有線LANを準備してください。

スマートフォンを使って視聴する場合、2時間分の通信量は1.2GB程度になります。Wi-Fi環境下での視聴をお勧めします。

6 スピーカー、マイクなど

USBスピーカーとマイク

- Revolabs UC500
- Jabra Speak 510
- Clearone Chat 150
- Logitech P710e
- Plantronics Calisto 600
- Phoenix Quattro3
- Voice Tracker Array Microphones
- Yamaha PSP-20UR
- Yamaha YVC-100
- Jabra USB Headphones
- Plantronics Headsets
- Revolab Fusion Wireless Microphones
- Shure Wireless Conferencing System
- MXL Microphones for Conferencing

推奨されるHDカメラ

- Aver CAM340、Aver CAM52
- Logitech C930e
- Huddly
- VDO360 PTZ HDカメラ
- VTEL HD4000PTZカメラ
- Vaddio Clearview USB
- Microsoft HD Webカメラ
- Hovercam Solo 5 ドキュメントとウェブカメラ

注意事項

システムによってサポートできるデバイスは異なります。事前に確認する場合は、研修前に開催予定の事前接続テストルームをご利用ください。開催日程につきましては、受講決定通知でお知らせいたします。

7 講義で使用する資料について

研修資料は、各研修日のおおむね5日前頃までに東京都福祉保健財団のホームページにアップいたしますので、研修当日までに各自でダウンロードしていただきます。なるべく印刷してお手元にご用意ください。なお、パワーポイントのスライドは当日のオンライン配信画面に表示する予定です。

詳細は、受講決定時にお送りする「留意事項」をご確認ください。